

ベタニヤホームだより



社会福祉法人 ベタニヤホーム
〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
電話 03 (3631) 0 4 4 4
FAX 03 (6659) 6 6 7 2
発行責任者 網 春 子

2021年春号 第137号

十字架を仰ぐ

日本福音ルーテル聖パウロ教会

牧師 小勝 奈保子

(社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)



私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安とが、あなたがたにあるように。アーメン。

教会の暦では、今は四旬節・レントと呼ばれる期節で、イエスさまの受難と十字架の死を覚える時を過ごしています。

今から76年前の3月10日、東京では爆弾が空から雨のように降って家屋を焼き尽くし、10万人以上の人々の尊い命が失われました。罹災者は100万人以上と言われています。

翌日の11日は東日本大震災の追悼日ですが、津波と原発事故から今年で10年が経ちました。関連死を合わせると死者は2万2200人にとほります。被災者の数は約4万1千人(復興庁・令和3年2月8日現在)、今も全国各地で避難生活を続けておられます。

コロナ禍で式典も様々な制約の中で執り行われました。戦争や自然災害による、大地への傷跡は、人々にも癒やし難い心の傷と痛みを残しました。月日が流れたからと言って、それで和らぐものではありません。癒されるようにと祈りながら、復興や平和への努力を積み重ねて、

今日の一步を誰かに支えられて、心の痛みを生きる力に変えて、それでも痛みはなくなるわけではありませんが、慰め主が共にいて、平安の内に命を慈しみ、限りなく愛しんでおられます。

平和への努力と対話は、これから先もアジア諸国と世界と続けていかなければなりません。今日のように日本に外国から来た人々が多く住むようになったのも、国と国との対話が進み、国際交流が発展してきたからでしょう。

それは喜ばしいことです。それと同時に、文化や生活習慣の違い、共に働き共に生活するとなれば、歴史認識も含めて様々な衝突や問題が起ることは当たり前のごとで必然と言えますが、それら乗り越えて未来を築くことはチャレンジとなります。

どんな未来を描きますか?どんな未来を子どもたちや子孫に贈りたいと願いますか?

イエスさまは「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ福音書1:15)と言われました。

この神の国こそ、イエスさまが、心に描いた未来であったのです。神の子が心に抱いた未来で、しかも、その実現のために「わたしは来たのだ」と言うのです。そして、その命の完成が、ゴルゴダの十字架でした。

人間の罪によって、イエスさまは十字架に挙げられます。その苦悩の中で、イエスさまは、とりなして祈られました。

「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです」(ルカ福音書23:34)。

この言葉は、驚くべき言葉です。敵への憎しみではなく愛が示されています。

私であれば、どうでしょうか?自分には非がなく、相手が悪いのだと言い返してしまうかもしれません。それが人間というものです。しかし、イエスさまは罪の責任、その過ちをご自身が引き受け、人間を咎めるのではなく父にとり

なして祈り、私たち人間が罪から解放されるために父に赦しを願いました。

このキリストの祈りが敵意、隔ての壁を打ち砕きます。「実に、キリストはわたしたちの平和であります」
「十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました」。(エペソ書2:14、16)。

私たちは、赦そうと思っても、なかなか赦せるものではありません。しかし、キリストの生き方から赦しを知るのです。

神さまは、罪人をお赦しになるために、神の子を犠牲にして贖われました。「贖い」というのは、神の子の命を代償に、私の罪を帳消しにする、私の命を買い取る、という意味です。そのことが人知を超える、という意味です。そして、神さまは独り子の死をご自身の愛の痛みをもって、人間の罪を打ち砕き、愚かな罪人を憐れみの愛で包んでくださいました。

その神の赦しの愛を知ることが、敵意の壁を取り除く方法なのだ、と言うのです。

キリスト教の教えは「互いに愛し合いなさい」、羊飼いのイエスさまの後に従い、良きサマリア人のように、奉仕に生きる姿を提示しています。

しかし、聖書を読みますと、牧歌的な場面ばかりではありません。旧約聖書には、数多くの



争い、憎しみや嫉妬、戦いが描かれています。創世記、最初の殺人は、カインとアベル、兄弟、家族の間で、カインは嫉妬から、弟のアベルを亡き者にしてしまいます。

モーセの十戒には「殺してはならない」と書いてありますが、王国時代は国と国との戦い戦国物語です。哀歌には、子どもを煮炊きして食べたとの記述があり、目を背けたくなりま



今の日本は、直接に戦争を行っているわけではありませんが、平和な社会と言えるでしょうか。子どもへの虐待やいせつな行為は、ソドムの国のように邪悪で、安心して子どもを育てられる環境や社会とは言えません。

愚かな戦争は、戦後生まれの私たちには信じられないことですが、当時の人々は、それを止めることができませんでした。しかし、今日の私たちも、子どもへの虐待、いじめや自死を止めることができます。何と憐れで無力なのでしょう

しかし、聖書は、十字架に挙げられたキリストを指し示すのです。

私たちは、微力です。福祉やディアコニアのために、日々力を尽くして働いておりますが、それとは真逆な社会の姿に、圧倒されてしまつております。憤りさえ覚えます。それでも、神の憐れみと平和を願って、祈り求めることから、私たちは希望を抱いています。悲しみの涙から生まれた歌が、命を言ひゆきます。子どもの犠牲を歌った哀歌は戦争に敗れ、荒廃した時代に作られた嘆きの歌です。

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たに。あなたの真実ほそれほど深い」「わたしは主を待ち望む」(哀歌33:22~24)。

その悲しみの歌から復興、よみがえりの命が生まれます。この耐え難い心の痛み、苦悩のただ中に、救い主はお立ち

なり、十字架に掲げられたのです。

私たち人間は愚かです。分別なく、数多くの過ちを犯します。それでも恵みの神は、雨を降らせ、マナを降らせ、人々を養い、道を正し、よみがえりの命をお与えくださる、それが創造主であり、神なのです。神さまはお造りになったものをこよなく愛しておられます。世界が滅んでしまつてもよいわけがない、そのために、神さまは空に虹をかけ、時々救いの約束を私たちに示して、そして、私たちがもとへ、み言葉を通して、イエスさまをお送りくださいました。

私たちの心から敵意という悪の根を取り除きましょう。一人ひとりの心が平和で、正しく(神の公平さ)、愛に生きてこそ、世界に平和が訪れ、実現していく、神さまに赦されている存在として、互いに愛し合うことを通して、ベタニヤホームから平和を、私たちの心に、平和な未来を描いて、その実現に向けて前進、希望の明日へと歩みを進めましょう。

望みの神が信仰からくるあらゆる喜びと平安とをあなたがたに満たし、聖霊の力によって望みあふれさせてくださるように。アーメン



綱 理事長

社会福祉法人ベタニヤホーム令和3年度の基本方針と予算概要

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響をはじめ、一般的な不安定な社会、経済状況に加え、私たちの働きや学び、そして、暮らすものが大きく変わるうとしています。生活格差の拡大、子育て家庭の孤立化や虐待など子どもたちや家庭を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

このような状況下にあつても、本法人は、創設以来掲げ続ける基本理念とキリスト教精神のもと、社会福祉法人として利用者や地域、関係機関及び行政等から信頼される社会福祉法人として安定、かつ、確実な運営を行い、役割をしっかりと果たしてまいります。

今年度は、社会福祉法改正後最初となる評議員の一斉改選、理事及び監事の2度目の一斉改選を迎えることを機に、

さらなる組織基盤づくりをすすめてまいります。法人の基本理念のもと、令和3年度の基本方針として次の3点を重点的な取り組みとしてすすめてまいります。

第一に、法人創立100周年記念事業の準備に取りかかります。

本法人は、令和5年度に創立100年の節目を迎えます。大正12年、関東大震災の罹災母子の保護を開始して以来、変わらぬ理念のもと脈々と紡いできた私たちの取り組みは、まもなく大きな節目に指しかります。この機に、法人のこれからのミッションを改めて確認し、新たな100年に臨みたいと考えます。

そのため、令和3年度から(仮称)法人創立100周年記念事業準備委員会を立ち上げるなど、具体的に検討、準備を行ってまいります。

第二に、社会的養護中長期計画の策定に着手します。

社会的養護のあり方が、対処から予防へシフトする過渡期にあり、今まさに社会的養護の一翼を担う母子生活支援施設の機能を地域に広げていくことが期待されています。

平成28年度の児童福祉法の改正により、都道府県と市区町村の役割と責務がそれぞれ明確化され、「身近な場所での継続的な支援」が必須とされています。こうしたことから、社会的養護中長期計画の策定を進め、利用者も含めた地域に暮らす「子育て世帯」の「生と性を尊重」した「切れ目のない」支援を目指します。

第三に、老朽化が進む富士見保育園舎の建替え事業を開始します。

老朽化が進む富士見保育園(江戸川区)の園舎建替えに向けて、令和3年度より具体的な検討・準備をすすめてまいります。

特に、法人及び富士見保育園としての建替えコンセプトを明確化し、江戸川区の待機児童の動向や保育事情、地域の子育て支援環境など江戸川区における保育や子育て支援ニーズに応えるとともに、施設として質の高いベタニヤホームならではの保育の実践を可能とする環境の確保について精力的かつ迅速に検討を行っていきます。

さらに、子ども園化や学童保育の実施、社会福祉法人の連携(社会福祉連携推進法人)による事業運営など、変容する保育ニーズや地域課題への対応と安定的な施設経営が担保できるよう、長期的な視点での検討も行っていきます。

令和3年度各拠点区分資金収支予算概要

(単位:円)

		拠点区分					合計	対前年度比較
勘定科目		法人本部	母子生活支援施設 ベタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園		
収入	事業活動による収入	0	124,840,000	0	0	0	124,840,000	5,818,000
	児童福祉事業収入	0	124,840,000	0	0	0	124,840,000	5,818,000
	保育事業収入	0	0	228,314,000	215,959,000	199,770,000	644,043,000	▲186,900
	借入金利息補助金収入	0	0	618,138	0	178,980	797,118	▲29,830
	経常経費寄附金収入	240,000	220,000	0	150,000	50,000	660,000	▲333,000
	受取利息配当金収入	13,000	30,000	30,000	23,000	13,000	109,000	▲21,970
	その他の収入	700,000	350,000	5,640,000	3,438,000	3,270,000	13,398,000	▲326,000
	経常収入計(1)	953,000	125,440,000	234,602,138	219,570,000	203,281,980	783,847,118	4,920,300
	施設整備等収入計(2)	0	0	0	0	0	0	▲24,707,000
	財務活動による収入計(3)	20,830,000	0	24,078,828	0	12,000,000	56,908,828	▲853,000
収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)	21,783,000	125,440,000	258,680,966	219,570,000	215,281,980	840,755,946	▲20,639,700	
支出	事業活動による支出	16,936,000	87,348,000	199,251,200	167,071,000	171,620,100	642,226,300	12,717,800
	人件費支出	16,936,000	87,348,000	199,251,200	167,071,000	171,620,100	642,226,300	12,717,800
	事業費支出	0	7,270,000	22,975,000	16,372,000	24,688,000	71,305,000	749,172
	事務費支出	5,896,000	13,973,000	18,095,000	13,669,000	9,684,000	61,317,000	▲16,613,800
	支払利息支出	0	45,000	802,120	0	299,820	1,146,940	▲90,530
	その他の支出	0	0	3,500,000	3,060,000	3,210,000	9,770,000	253,000
	経常支出計(5)	22,832,000	108,636,000	244,623,320	200,172,000	209,501,920	785,765,240	▲3,029,358
	施設整備等による支出計(6)	0	4,300,000	6,020,000	1,000,000	3,630,000	14,950,000	▲10,236,250
	財務支出計(7)	683,000	9,800,000	7,015,000	11,854,000	6,889,000	36,241,000	▲928,000
	予備費(8)	315,000	2,500,000	1,022,646	6,544,000	500,000	10,881,646	3,374,598
支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)	23,830,000	125,236,000	258,680,966	219,570,000	220,520,920	847,837,886	▲10,289,010	
当期資金収支差額(10)=(4)-(9)	▲2,047,000	204,000	0	0	▲5,238,940	▲7,081,940	▲10,350,690	

感謝

伊藤 操 (前こひつじ保育園長)

このたび、令和3年3月31日をもって、定年を迎えることになりました。

こひつじ保育園が私の最後の職場となりましたが、神さまをはじめ、子どもたちや保護者の方々、地域の方々など多くの皆さまに温かく守られ、また、心強い職員の方々の支えにより、今日まで仕事と家庭を両立して働かせていただいたことに心から感謝を申し上げます。

保育園での日々の中で、朝のお祈りから始まる保育は、とても新鮮でした。子どもたちと神さまを讃美し、御言葉を聞き、祈りを捧げる礼拝を守っていく中で、「神さまに愛されている」喜びを感じ、子どもたちと素直な気持ちで過ごせたことは、キリスト教保育が基本であったことによるもので、私自身の支えにもなっていたことを改めて感じています。

また、乳児の頃から卒園するまでお預かりして、子どもたち一人ひとりの成長に関わり、見守ることができ、とても幸せでした。そして、保護者の方々や子どもたちの成長を共に喜べることも、「保育士になって良かった」と実感できるかけがえのない瞬間でした。

私がベタニヤホームに携わることになったのは、長きに亘りベタニヤホームで働き、女性や子どもたちの幸せのために奉仕され、支援されてきた長睦する先生の存在でした。長睦先生は、菊川保育園分園の設立から子育て広場、こひつじ保育園の開園と、地域の子育て支援の拠点づくりや福祉的援助、指導を率先して行ってこられた方です。どんな小さなことでも大切に、寄り添い、守っていくことが大事であるという先生の言葉を励みに、そして、支えをいただきながら定年という日を迎えることができました。

種まかれた地に根ざし、地域の子育て支援の拠点として愛され、信頼される保育園の運営に、私は誠心誠意努めてまいりました。振り返ればまだまだ言い尽くせぬ思いはありますが、ベタニヤホームに勤めることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

「主は羊飼いを養い御腕を持って集め子羊をふところを抱きその母を導いてくださる」(イザヤ書・40章・11節)

ほっこりエピソード ～母子生活支援施設～



事務所前に飾っているひな人形。普段からお母さんに「さわらないでね、見るだけよ」と言われていても、「さわりたいなあ〜」と話すAちゃん。なぜさわりたいの?と質問すると、「だってかわいいんだもん♪」と。「そうよね、お雛さまがかわいいよね」と職員が言うと、「ううん、おもちがかわいい!!」よく聞いてみると、ずっと三色餅が気になっていたとの事! たしかに、きれいな三色のひし餅、かわいいですよね。

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●災害学習

ベタニヤホームの学童では、フィールドワークを中心に「災害学習」を実施しました。地震発生時の避難に関する基礎知識を座学で学んだ後、地域を歩いて危険個所の写真を集めたり、避難場所を確認したりしました。フィールドワーク後は、iPadで撮影した危険個所の写真を使って、なぜ危険だと思っただか、どのようにしたら危険を回避できるかについて、1人ひとり発表しました。みんな、座学で学んだことや自分の目で見たことを素材にして、自分の力で考えて発表することができました。

学習後には、ベタニヤホームに備蓄されている防災食の作り方を子どもたちが学んだうえで、子どもが母親に作り方をレクチャーし、夕食の時間に食べてもらうという挑戦もしました。防災食の作り方や美味しさを子どもたちに知ってもらうことができました。



●成長お祝い会

3月に、1年間の成長をみんなでお祝いする会を世帯毎に行いました。例年、みんなが集まって、1年の成長をスライドショーを交えながらお祝いしてきましたが、今年度は行事が少ししかできず、写真も少ないです。それでも施設で親子と過ごした思い出は日ごと月ごとに増えていき、写真にはなかったエピソードも色々と話しをすることが出来ました。食後は親子で協力して美味しいデザートを仕上げ、楽しい会となりました。



菊川保育園

●ぼら組お楽しみ会

7月からコロナ対策で延期となっていた年長組のお泊り保育を1月22日に「お楽しみ会」という形で行いました。心も身体もひと回り大きくなった子どもたち。友だちと意見を沢山交しながら時間をかけてどんな事がしたいのか、計画していきました。当日、日中は公園へ散歩に行き、普段と同じ生活。おやつからはいよいよお楽しみ計画の始まりです。

一つ目はポップコーン。夏に育てて乾燥させたコーンで美味しく頂きました。その後は宝探しゲーム、名前ビンゴ、リズムゲームの3本立て。チームに分かれてヒントを頼りに宝を見つけ出したり、友だちの名前が出た時には喜び合い、名前ビンゴを楽しみました。

夕食は子どもたちの考えでアレレギーのある友だちも食べられるメニューにしました。普段は別席で食べている子どもたちも皆と一緒に席で食事をしても嬉しそうでした。

皆と考え合い、友だちを想って計画し実行できたというこのプロセスは、子どもたちにとって成長の糧となり、宝物になったことと思います。一人ひとりの成長を嬉しく思うと同時に、成長させてくださった神様に心から感謝いたします。



富士見保育園

●お別れ会●

3〜5歳児の異年齢クラスでは、卒園を迎える5歳児すみれ組とのお別れ会を計画しました。

子どもたちで意見を出し合い、すみれ組との思い出作りで何をやりたいかを決めました。出た意見は、一緒にお庭で遊ぶ、一緒に積木でスカイツリーを作る、一緒にお菓子を食べる、などでした。子どもたちの思いを大切に、お別れ会の日に完成するように積木でスカイツリーを作り、お庭ではリレーと氷鬼をして一緒に遊びました。おやつの間にはお菓子を一緒に食べました。



「お兄さんありがとう」



「みんなで作ったスカイツリー」

その後は、お互いにこっそり用意していた手作りのメッセージカードを交換しました。異年齢クラスでは、大きい子は小さい子のお世話をし、小さい子は大きい子に憧れて頼りにする関係が自然とできています。3〜4歳児はこれまでの感謝の思いを、5歳児たちは小さい子への応援メッセージを言葉やイラストにして、それぞれに手渡しました。

新しい生活へと進んでいく子どもたち、進級して頼もしくなっていく子どもたち、それぞれの姿を応援していきたいと思えます。

こひつじ保育園

●あおぞら保育園体験ってなに？●

今年度はコロナ禍となり、地域活動を行う機会がなく、どうしても地域の方と関わっていかれるか考えました。公園で手遊びやわらべうた、紙芝居、大型絵本、パネルシアターなど、保育園で普段行っているものを青空の下で体験していただく、「あおぞら保育園体験」を保育園の前の公園で実施することにしました。

最初は公園にいる地域の方に声をかけていましたが、続けていく中で、問い合わせがあったり、何度も見に来てくれたりと楽しみにしていました。子どもたちの笑顔も見れ、私たちも嬉しかったです。

来年度も継続して行っていき、地域の方と触れ合う機会を作っていきます。



「あおぞらほいくたいけん」



「絵本楽しいな〜」

法人本部報告

◆理事会開催報告

令和3年2月1日に、令和2年度第4回理事会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。

- 議案第22号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収入補正予算（補正第2号）
- 議案第23号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款細則の一部改正について
- 議案第24号 社会福祉法人ベタニヤホーム事業決定規程の制定について
- 議案第25号 社会福祉法人ベタニヤホーム文書取扱規程の制定について
- 議案第26号 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う母子生活支援施設職員への危険手当の支給について
- 議案第27号 施設長の任命について
- 議案第28号 令和2年度第3回評議員会の招集について

また、令和3年3月23日に、令和2年度第5回理事会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。

- 議案第29号 令和2年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第30号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第31号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第32号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第33号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第34号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 議案第35号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 議案第36号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
- 議案第37号 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の制定について
- 議案第38号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第39号 令和2年度職員の人事情形について
- 議案第40号 令和2年度第4回評議員会の招集について
- 議案第41号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備業務委託契約の締結について
- 議案第42号 令和3年度事業計画及び資金収支予算の承認について
- 議案第43号 令和3年度第1回評議員員選任・解任委員会の招集について

◆評議員会開催報告

令和3年2月16日に、令和2年度第3回評議員会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。

- 議案第9号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収入補正予算（補正第2号）
- 議案第9号 令和2年度第3回評議員会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。

- また、令和3年3月 日に、令和2年度第3回評議員会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。
- 議案第10号 令和2年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第11号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第12号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第13号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第14号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第15号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第16号 令和3年度事業計画及び資金収支予算の承認について

「協力ありがとうございました」

〈令和3年1月～令和3年3月まで〉（敬称略）

●ご寄附

- 〈母子生活支援施設〉 聖パウロ教会（入浴剤）、日本フィランソロピー協会（衣料品）、日本即席食品工業協会（即席めん）、食品ロス・リポーンセンター（備蓄食品）、ソシオエステ（ハンドクリーム）、都内団体（手指消毒液）、ロクシタンジャパン（化粧品セット）、救世軍（クリスマススツッキー、ハム詰め合わせ）、日東製粉（クリスマスケーキ）、オアシスプラス（木製キーホルダー、木のおもちゃ）、藤田（ストラップ）、日吉屋（寄付金）、ドイツ銀行（食品品）、武田薬品工業（文房具）、花王（洗剤・ハンドソープ）、渋井みさ子（寄附金）
- 〈菊川保育園〉 駒宮のり子（刺子タペストリー）、在園児保護者（ビニール袋）、在園児祖父（紙皿）
- 〈富士見保育園〉 江戸川区子育て支援課運営支援係（マスク）、匿名（絵の具）、六中自治会（アルコールスプレー）
- 〈こひつじ保育園〉 中尾和江（塗り絵）

【贈る言葉】

このたび、令和3年3月末日で定年退職を迎えられた、こひつじ保育園の伊藤 操園長、43年の長きにわたってのお働きに心より感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。

編集後記

令和3年度がスタートしました。

昨年度は新型コロナウイルスの脅威の中でそれぞれの事業所が「新しい業務内容」を摸索する1年となりました。

私たちはどんな時でもイエス様の愛を信じて利用者一人ひとりと丁寧にかかわり続けていきたいと思えます。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。